

## 令和5年度第1回 大津市歴史博物館協議会 議事録

日時：令和5年11月10日（金）14時～15時30分

場所：大津市歴史博物館 講堂

委員：鷺尾会長、宇野副会長

赤阪委員、太田委員、大野委員、岡田委員、奥村委員、小磯委員、澤村委員、末竹委員、藤澤委員

（会長・副会長以外は50音順）

事務局：岸本館長、木津副館長、寺島リーダー、高橋リーダー、鯨井主査、福庭主査、柘植技師

- 1.開会
- 2.新任委員紹介
- 3.歴史博物館長挨拶
- 4.協議事項（議事録）
- 5.閉会

鷺尾会長

議題1 令和5年度事業の進捗状況について、事務局から報告をお願いします。

福庭主任 企画展「発掘された大津の歴史」について説明。

### 【質問・意見】

鷺尾会長

ありがとうございます。事務局の説明が終わりました。ご質問のある方は挙手をお願いします。

大野委員

夏の展示ではありませんが、現在開催中の本福寺の展示の中で、親鸞絵伝の中から動物を探す、という企画がありました。このような企画は、子供も大人も一緒に楽しむことができ、コミュニケーションをとりながら観覧することができました。同様の企画を継続すれば、子供たちが大津市歴史博物館のことを心にとめて成長してくれるのではないかと感じたので継続してほしいと思います。

鷺尾会長

大人だけでなく、子供連れ、小中学生でも楽しめる展示ということでコメントいただき

ました。

「発掘された大津の歴史」のアンケートの中で、「展示内容に似た内容のものがある」と指摘されていた点について、図録を見ていると確かに遠くから眺めると似ていると思う方もいたのではないかと思います。ただ、研究者から見るとかなり大きく異なるものもあるのではないかと思いますので、そのあたりの見せ方の難しさを感じています。詳しい研究者から見るとすごく面白いけれども、初めて見る人からすると敷居が高いということもあり、展示の仕方がとても難しいという感想を持ちました。

福庭主任

キャプションなどの見せ方を工夫して、今後も内容の分かりやすさについて考えていきたいと思います。

宇野副会長

専門用語を解説に書きすぎると解説しか見ないというジレンマがあり、かみ砕いて伝えようとするのだんだんずれていってしまうこともあります。難しいものは難しいと伝えることも必要だというところで、とても苦労されているのを感じました。出土品という地味な展示物を並べられた中で、お子さんの集客をこれだけ集められたというのは、担当職員の方がご尽力されたのだと思います。ただ展示物を見るだけではなく、鑑賞時間を長くする工夫があってもよいのかもしれないし、アートの方とのコラボレーションもできたら良いと思いました。

福庭主任

どうしても解説を読むことに集中してしまうということが多いので、まず実物をじっくり眺め、それからキャプションを読むような展示の並べ方にするということも、今後も考えたいと思っています。

宇野副会長

美術の方では、対話型鑑賞というものがあり、作品を見た後にどのように感じたかをみんな話し合うという鑑賞の形が教育普及の面で発展してきています。いつだれが造ったものなのかわかるとすっきりするけれども、そうではなくて展示品がどのようなものなのか対話を繰り返すという鑑賞の形と、従来の展示の中間をつくれたら良いのではないかと感じました。

鷺尾会長

子供と大人のコミュニケーションということが大野委員の話の中でありましたが、展示されているものを見ながら対話をするという見解が得られて、とても興味深く聞きました。

岸本館長 大河ドラマ「光る君へ」放送を契機とした取組について説明。

【質問・意見】

鷲尾会長

ご質問ご感想などがありましたらお願いいたします。

小磯委員

大河ドラマの歴史を見ても、平安時代という比較的古い時代を扱うことになります。「光る君へ」より古い時代を扱った大河ドラマは「平将門」しかなく、それに次ぐ古い時代を扱うことになります。平安貴族の人間模様だけではなく、当時の貴族の衣装や工芸品などもしっかり伝えていきたいと考えています。ドラマの中で伝えるのには制限があるので、大津市歴史博物館でこのような展示をしていただけることで、より一層興味と知識を深めていただけるのではないかと思います。

末武委員

先ほどから親子のコミュニケーションという話が出ていますが、大河ドラマを見ている人が反応しやすい仕掛けなどがあれば教えていただきたいと思います。

小磯委員

大河ドラマは年間のあらすじについて、ある程度先が読めるところがあるので、放送の流れに合わせて展示品の流れを変える、入れ替えるなどの工夫が可能なのではないかと想像しています。

木津副館長

大津市では今回、石山寺に大河ドラマ館という施設があり、そちらでは実際にドラマで使われている衣装や小道具を展示されると聞いております。今回の博物館の展示は2か月ごとに展示品を入れ替えますので、SNSなどの発信で、ドラマと結び付けていきたいと考えています。

宇野副会長

源氏物語は漫画のルーツとも言われているので、そこと絡めた展示ができれば子供や芸術を学ぶ学生も来てくれるのではないかと思います。

鯨井主任

源氏物語は幅広い分野に様々な影響をあたえたものではありますが、文字で読もうとするとやはり難しいところがあります。今回、石山寺の調査をさせていただくなかで、とても良い美術品が多く確認できたので、文字ではなく、きれいな美術品のイメージから入っていただけるように、専門の方とも協力しながら、展示を構成していこうと考えています。

藤澤委員

十二単を着る機会を作るという話が事務局からありましたが、これは大変面白く、喜ばれると思います。使用するのには撮影の時に使われた衣装ということでしょうか。

岸本館長

放送で使われた衣装ではなく、近江神宮の衣装部から十二単をお借りしようと考えているところです。

藤澤委員

ほとんど本物に近いということですか。

岸本館長

まだ実物は見ておりませんが、衣装部の方に聞きますと、非常に良いものだと聞いております。

藤澤委員

女性の皆様、喜ばれると思います。私は今年の夏にバーチャルリアリティーのイベントに参加しまして、小さな子も喜んでいたのですが、例えば、源氏物語絵巻のような王朝絵巻の中に入って行って、当時の貴族がどのような生活をしていたのかを体感できるような仕掛けを作ることはできないでしょうか。

木津副館長

場所の制限などもあり、展示の中ではそこまで踏み込むことはできず、今回は大津と源氏物語の関係に焦点を当てております。体験型の展示は関心を高めるものだと考えておりますので、展示では1階ロビーの大型モニターのところでデジタルサイネージを予定しており、楽しみながら学べるという仕掛けの準備をしているところですので、ぜひそちらをご覧くださいと思います。

赤阪委員

興味から知識へという展示構成で面白そうだと感じました。質問ですが、十二単の体験ではかつらはあるのでしょうか。

岸本館長

かつらは準備しておりません。

赤阪委員

かつらなども含めて体験できれば小学生の子供などにはとても楽しそうだなと思いました。十二単は20キロくらいある、とても重いものだと聞いていますし、そんなに重いものを着ていたのだと実感できるのはとても良い機会だと思います。春季、秋季企画展も予定されていますが、こちらはどのようなものでしょうか。

岸本館長

そちらについては令和6年度の事業になりますので、令和6年度の事業概要についての報告の方で説明させていただきます。

鷺尾会長

かつらは今のところないということでしたが、石山寺で昔、十二単の着装体験をしたことがあり、かつらも用意したところ意外と皆様かぶられていたということがありました。可能であればあると良いのかなとも思いました。

木津副館長

十二単も体験の仕方には、色々なやり方があるかと思います。着方を理解していただくという点でいえば、一枚一枚順に着ていただくのが良いのですが、今回はどちらかという源氏の間というフレームの中に収まっていただいて、写真をとってもらおうということをポイントにしております。なので、たくさんの方に写真を撮っていただきたいということがあります。着まわすということにも配慮しなくてははいけませんし、できるだけ良い体験ができるように、準備してまいりたいと思います。

奥村委員

久しぶりの全国区のイベントということで、紫式部というミスコンをやってみるのはどうでしょうか。話題作りをまずやらないと、そのまま終わってしまうのではないかという懸念があります。観光振興課と連携してやっているとは思いますが、地域を巻き込んで大きなイベントを作るということをやらないと、大津市全体を取り囲んでやれるような企画が欲しいと思います。先日石山寺では立派な硯をお作りになったということもありましたが、それだけで終わってしまっただけではもったいないので、NHKだけではなく他の放送局も乗ってくれるような、話題性のある企画もあわせて考えていくのはどうかと思います。

木津副館長

博物館でできるか、また適当かどうかという点も含め、協議会などと相談させていただきたいと思います。今回の大河ドラマに関する取り組みについては、展示だけで終わるといふかたちでは考えていません。博物館では講演会や展示解説など、博物館として取り組むべきものに加え、博物館のファン層以外の方々が博物館に来ていただけるような仕掛けを、色々と考えていきたいと考えております。年明けになってからですが、石山寺で展示されている東近江の職人さんが作られたひな人形を、歴博の方に移して展示をさせていただくことになっています。そういった観光的な取り組みとの協力体制など、間口の広い取り組みを考えておりますので、積極的にさせていただきたいと思います。

鷺尾会長

従来の歴史博物館からは少しはみ出した取り組みをしていくということで、とても楽しみにしております。

太田議員

この大河ドラマは紫式部の話であって、源氏物語の話ではないですよね。紫式部は源氏物語の着想は石山寺だけれども、ずっと大津にいるわけではないですね。とすると、歴博の展示は紫式部が大津から離れたときはどのような感じで考えているのでしょうか。

鯨井主任

「源氏物語と大津」の展示趣旨、構成について説明。

鷺尾会長

詳細を教えていただいて大変興味深く聞かせていただきました。今まであまり世に出ていない石山寺の所蔵品がありますので、そのようなものがたくさんの人に見ていただいて、大津にあるのだと知っていただくきっかけになるのではないかと思います。

鷺尾会長

議題2 令和6年度の事業概要について、事務局から報告をお願いします。

寺島グループリーダー 令和6年度の事業概要について説明。

【質問・意見】

鷺尾会長

ありがとうございます。様々なご説明がありましたが、質疑がございましたらよろしくお願ひいたします。おひとり1回のご発言いただきたいということでお願ひしておりますので、岡田委員いかがでしょうか。

#### 岡田委員

はじめは大河ドラマのことについてご説明いただいて、多くの人が日本全国から大津に来てくれることが期待されていますが、隣の京都府では目いっぱいインバウンドの取り込みがされています。それに比べて大津は完全に遅れているというふうに感じています。今回大河ドラマでどれだけいろいろな方が来ていただけるかと思っているのですが、歴史マニアのような方は興味を持ってくれるだろうけれどもそうでない方に、どのようにしたら大津に来てもらえるか考える必要があるだろうと思います。自治連合会としても、運動や宣伝をしていかなければいけないと思っています。専門的なことにご尽力いただいているけれども、どれだけ一般の人に受け入れてもらえるのか、もちろん歴史博物館の事業としては良いが、今回の大河ドラマでどれだけ大津市を宣伝できるのか、自治連合会としても方策をこれから考えていきたいと思っています。

#### 木津副館長

歴史というよりも、地域の出来事としてとらえてもらえるといいのではないかと思います。大河ドラマで源氏物語や紫式部が紹介されるなかで、それらと地元とのつながりをどれだけ地域の人に知ってもらえるかがポイントだと考えております。市外の方がたくさん来られることも目標の一つではありますが、このような機会を通じて石山寺と紫式部のつながりを市民の方に知っていただいて、語っていただけるような機会になる、ということも、とても大切なことと考えています。自治連合会さまとしましても、地域の方が歴史博物館の展示をご覧いただいたり、石山寺さんと紫式部の関係に触れていただけたりするような機会を作っていただければありがたいと思います。

#### 岡田委員

せっかく大河ドラマがあるので、市民の方に源氏物語と大津のことを知っていただくのは大切だと思います。毎月大津市の自治連合会の定例会があるので、そこにどのような展示をしているのかを提出していただくのも良いのかなと思いました。またよろしくお願ひします。

#### 赤阪委員

夏休みのおもちゃづくりワークショップは紫式部に関連付けたものになるのでしょうか。

#### 宇野副会長

まだそこまで決まってはいませんが、例年企画展があれば、その関連イベントにしています。これだけ大きい企画展ですから、連携する可能性は高いのではないかと思います。

#### 藤澤委員

堅田本福寺を見せていただいたのですが、宗教をかなり深掘りされていて、私のようなものにはかなり重い感じでしたが、たまたまおられた若いお坊さんは熱心に見られていました。それはそれでよいのかもしれませんが、例えば三井寺の声明や三千院の声明など、動的な立体的ものをやることはできないでしょうか。

#### 寺島グループリーダー

可能だと思います。今も叡山学院と連携して、毎年3月に天台声明の卒業公演をしております。三井寺さんと連携することも考えてみたいと思います。

#### 鷺尾会長

天台声明だけではなく真言声明もやっておりますので、京都の種智院大学などに依頼してみるのも良いかもしれません。

#### 宇野副会長

木津副館長から発言された件に関して、私は2014年から2019年、福島で作家活動をしていたのですが、あちらの若い人がおっしゃっていたのは、色々慰霊碑とかが建ったけれども、本当はこうしてほしかったわけではない、けれども自分たちが生まれた場所のことを知らなかったの、こうしてほしいと言えなかったことが悔しいということでした。そのような意味では、大河ドラマがやってきてという経済的な意味はありますが、郷土の歴史博物館の役割として、地域の歴史を皆で考える場になる、ということがすごく大切だと思いました。博物館へ来ていただくことも大事ですが、様々な団体への研修会のような形で、博物館を出て、自分たちがどういう場所にいるのかということが伝えられると良いのではないかと感じました。

#### 木津副館長

地域の歴史を知っていただくことはとても大切だと思います。直近で博物館が取り組むべきこととして、話題となっている大河ドラマへのアプローチの仕方を検討してきましたが、来年度以降はそれに加えて地域における学びの場をどのように提供するかを考えていきたいと思っています。年度末の協議会の際には、恒常的に取り組んでいく博物館の取り組みについてもご紹介させていただきます。

#### 奥村委員

あまり難しく考えずに、紫式部が何を食べていたのかなど、日常生活の面からアピールできるものはないかと思います。短い動画でも良いので歴史博物館の職員が、NHKと協力して作れないでしょうか。そのようなものがあればもっとみんなが興味を持つのではないかと思います。

#### 木津副館長

お答えになっているかはわかりませんが、石山寺だけではなく、源氏物語と大津の神社とのかかわりなど、色々な切り口で少しずつ地域のことを発信していけるように、NHKさんともお話をさせていただければと思います。

#### 岸本館長

これまでの展覧会の中では、子供や若い人が見ても楽しめるような企画展の内容にしたという事で、ワークシートやクイズを作るなど、様々な取り組みをしてまいりました。奥村委員がおっしゃったように今後も、なにか興味を持っていただけるような仕掛けを作っていきたいと思っております。皆様のお知恵をお借りしながらやっていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

#### 鷺尾会長

平安時代や紫式部という敷居が高くなってしまっているところがありますが、なんとか大津に根付いた、人の生活と関連させながら展示することが大切だと思いました。身近な要素を一つ一つ見つけていくところから始める必要があると感じます。

#### 末竹委員

先ほど鯨井主任が源氏物語の話がされているときにとても楽しそうに話されていたので、学芸員がティックトックなどで展示の内容を紹介するようなものがあったらいいのではないかと感じました。

#### 岸本館長

インスタグラムとXに投稿しているところで、次第にフォロワーも増えています。ティックトックについても、今後検討させていただきたいと思っております。

#### 藤澤委員

歴史博物館の所蔵品で広重の浜大津の絵があるかと思いますが、江戸時代の東海道の大津の町並みを歩いてみる、バーチャルリアリティーで歩いてみるということはできませんか。

岸本館長

歴史博物館ではありませんが、都市計画部の方で「れきまち計画」というのがあります。大津百町エリアの古地図を活用し、古地図と現状の図面を合わせたかたちの SNS を発信していきまして、歴史博物館もそれには協力しながら進めている状況です。

鷲尾会長

では以上で令和 5 年度第 1 回博物館協議会の議事を終わりたいと思います。